

～当院では下記の研究を行います～

『HIV 診療ブロック拠点病院における HIV 感染症 治療薬の処方動向調査研究』

【研究の主宰機関】 国立病院機構 大阪医療センター

【研究代表者】 矢倉 裕輝

【研究の目的】 抗 HIV 薬の処方状況から日本の HIV 診療の均てん化の状況について明らかにすること

【研究の期間】 研究許可日～2021 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2015 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日までに当院で抗 HIV 薬の処方をされた方

●利用する試料・情報等の種類

試料：処方された薬に関する調査のためありません。

情報：2015 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日までに当院で処方された抗 HIV 薬の情報等を利用します。また、同期間内に抗 HIV 薬を変更された場合は変更理由に関する情報等を利用します。

●外部への情報等の提供

得られた情報は匿名化し、当院にあるデータセンターで特定の関係者以外がアクセスできない状態で管理します。そのため、外部等へ情報等を提供することはありません。

●研究組織

研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

旭川医科大学病院 井上 正朝

北海道大学病院 田澤 佑基

札幌医科大学附属病院 國本 雄介

国立病院機構仙台医療センター 阿部 憲介

国立国際医療研究センター病院 増田 純一

新潟市民病院 安井 淳子

新潟大学医歯学総合病院 外山 聡

新潟県立新発田病院 田川 尚行

石川県立中央病院 成田 綾香

国立病院機構名古屋医療センター 平野 淳

国立病院機構大阪医療センター	矢倉 裕輝
広島市立広島市民病院	田中 和行
県立広島病院	井上 千鶴
広島大学病院	石井聡一郎
国立病院機構九州医療センター	大石 裕樹

【研究の資金源】

令和2年度厚生労働科学研究補助金エイズ対策研究事業「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究」(分担研究者; 矢倉裕輝)を用いて行います。

【利益相反】

臨床研究における利益相反(COI(シーオーアイ): Conflict of Interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

薬剤部 研究教育主任 矢倉 裕輝

研究代表者

国立病院機構大阪医療センター

薬剤部 研究教育主任 矢倉 裕輝

研究責任者

新潟県立新発田病院

〒957-8588 新潟県新発田市本町1-2-8

TEL (0254) 22-3121 (代)

薬剤部 薬剤科長 田川 尚行